

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 高齢者の弓部大動脈病変に対する TEVAR と OPEN の使い分け
	●研究の対象 2009 年 1 月～2023 年 6 月までの期間に当院心臓血管外科において、左総頸動脈および鎖骨下動脈起始部付近もしくはその遠位側に存在する限局した嚢状または紡錘型の動脈硬化性真性大動脈瘤に対して外科治療を施行した、50 歳以上 100 歳以下の患者さん
	●研究の目的 人工血管置換術が遠隔成績も安定しており第一選択ではありますが、人工心肺の使用および低体温手術が高侵襲と考えられる症例に対してはステントグラフト治療が施行され普及してきました。当科では症例に応じて胸骨正中切開からの人工血管置換術、胸部ステントグラフト治療 (TEVAR) もしくは Hybrid 治療を選択し、開胸手術に術野から挿入するステントグラフトは脊髄障害の問題があり使用しておりませんでした。本研究では、患者さんのデータをもとに当科での成績を振り返り、使い分けに関して検討し、弓部大動脈瘤治療体系の確立に寄与することを目的としています。
	●研究の期間、 研究機関の長による実施許可日から 2028 年 9 月 1 日まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
●他の機関に提供する場合には、その方法	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：年齢、性別、術式など
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 浜松医科大学 第一外科 鷲山 直己
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	浜松医科大学 第一外科 鷲山 直己
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《問い合わせ
先》

〒431-3192

浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号

浜松医科大学

部署名： 第一外科

担当者： 鷲山 直己

TEL： 053-435-2276

E-mail： 07112957@hama-med.ac.jp